

JOYO BANK NEWS LETTER

2025 年 6 月 20 日

営農型太陽光発電所に対するプロジェクトファイナンスの組成について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、当行初となる営農型太陽光発電事業向けプロジェクトファイナンス（以下、「本融資」）を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

営農型太陽光発電事業とは、農地の一時転用許可を受け、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら発電を行う事業です。農作物の販売収入に加え、発電した電力の売電収入を得ることができるため、収入の安定化が期待できます。

本事業では、福島県南相馬市に所在する 6 カ所の稼働済み営農型太陽光発電所にて、発電事業として売電を行うとともに、各発電所の太陽光パネル下部にてみょうがを栽培しています。

当行は、借入人となる福島小高ソーラーリース合同会社に対して、オリックス銀行株式会社などとの協調により、プロジェクトファイナンスを組成しました。

当行では、本融資を通じて、発電所周辺の雇用創出、地域経済の発展、国内の再生可能エネルギーの普及・拡大に努めてまいります。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続け地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

【事業概要】

事業内容	営農型太陽光発電所
所在地	福島県南相馬市
設備容量	11.47 メガワット
栽培作物	みょうが
借入人	福島小高ソーラーリース合同会社
貸付人	株式会社常陽銀行、オリックス銀行株式会社他

以上

(別紙)

■本融資の対象となる営農型太陽光発電所および栽培中のみょうが

< 営農型太陽光発電所 >



< 栽培中のみょうが >

